

メディア関係者各位【掲載依頼】

全国の救命救急センターにおける「自傷・自殺未遂レジストリ」 初の年次報告書を公開

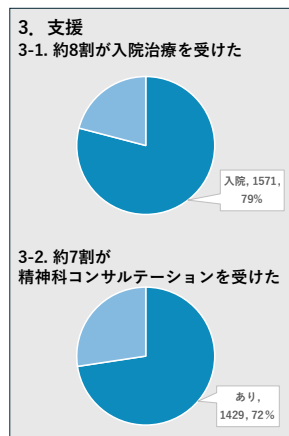
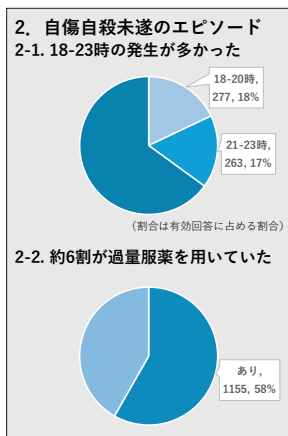
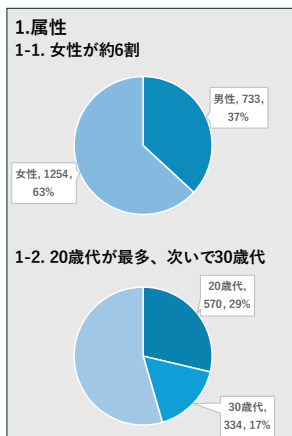
一般社団法人「日本臨床救急医学会」（東京都中野区、代表理事・溝端康光）と厚生労働大臣指定法人・一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」（東京都千代田区、代表理事・清水康之）は、2022 年 12 月から、救命救急センターにおける自傷・自殺未遂例の登録システム「自傷・自殺未遂レジストリ；JAPAN Registry of Self-harm and Suicide Attempts」（以後「JA-RSA」）を運用しています。2024 年 9 月 10 日に、JA-RSA の初の年次報告書となる「自傷・自殺未遂レジストリ（JA-RSA）2024 年報告書」を公開します。

世界保健機関は自殺対策における自殺未遂者の実態解明・自殺未遂者支援の重要性を鑑み、自傷・自殺未遂レジストリの構築・運用を推奨しており、日本以外にも複数の国で同様のレジストリが運用され貴重な知見が得られています。JA-RSA は、日本におけるはじめての大規模で継続的な自傷・自殺未遂レジストリであり、学術的、政策的な観点から、自傷・自殺未遂者支援に資することを目的として運用しています。JA-RSA は、救命救急センターを受診した自傷・自殺未遂者を対象とし、属性、自傷・自殺未遂に用いた手段や、臨床転帰、実施された支援などに関する情報を適切な研究倫理指針に基づき、個人が特定される情報を含まない形で収集しています。現時点で全国の救命救急センターのうち、59 機関が研究参画しており、救命救急センターを受診する自傷・自殺未遂者支援に関する貴重な情報が提供されています。

なお、本年 8 月 8 日に開催された「第 8 回救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループ」では、救命救急センター充実段階評価の改訂に向けて、本レジストリへ症例登録を実施していることが新たな評価項目の候補の 1 つとして検討されております。日本臨床救急医学会といのち支える自殺対策推進センターは、今後も連携して JA-RSA データの分析にあたり、自傷・自殺未遂者の実態分析と支援の推進に努めてまいります。JA-RSA 初の年次報告書をぜひご覧いただきたく、ご案内申し上げます。

JA-RSA 登録症例の概要

2022 年 12 月 1 日～2023 年 12 月 31 日までに 44 の症例登録参加機関を受診した 1987 件



報告書掲載ページはこちら：<https://sites.google.com/jscp.or.jp/jarsa/報告書>



<本件に関する問い合わせ先>

自傷・自殺未遂レジストリ事務局（担当：堀口・青木）registry@jscp.or.jp